

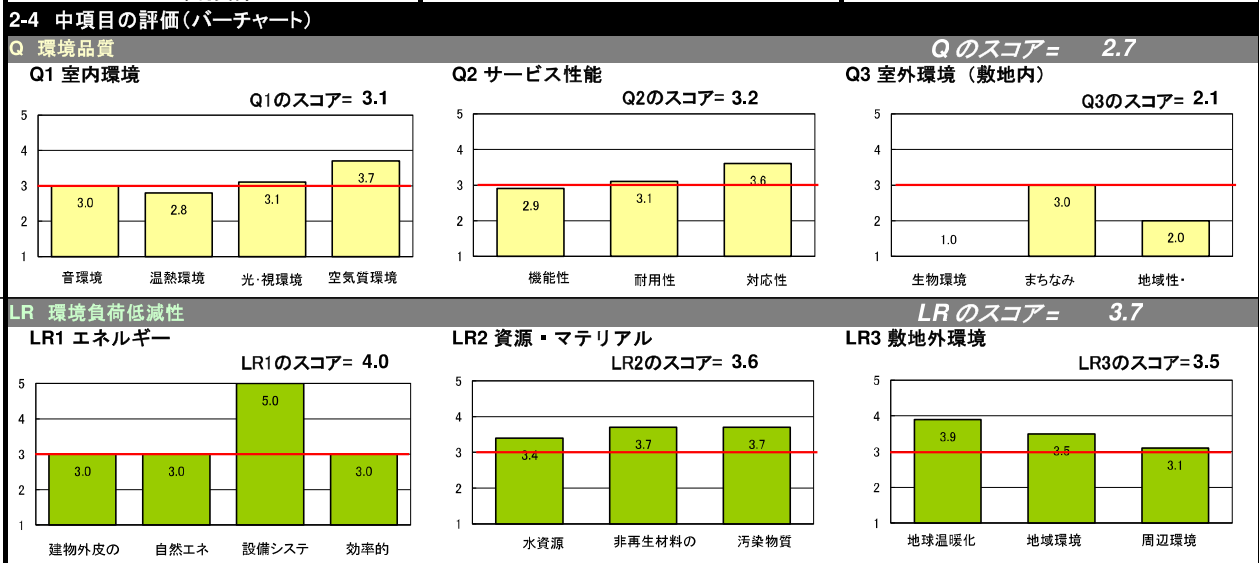
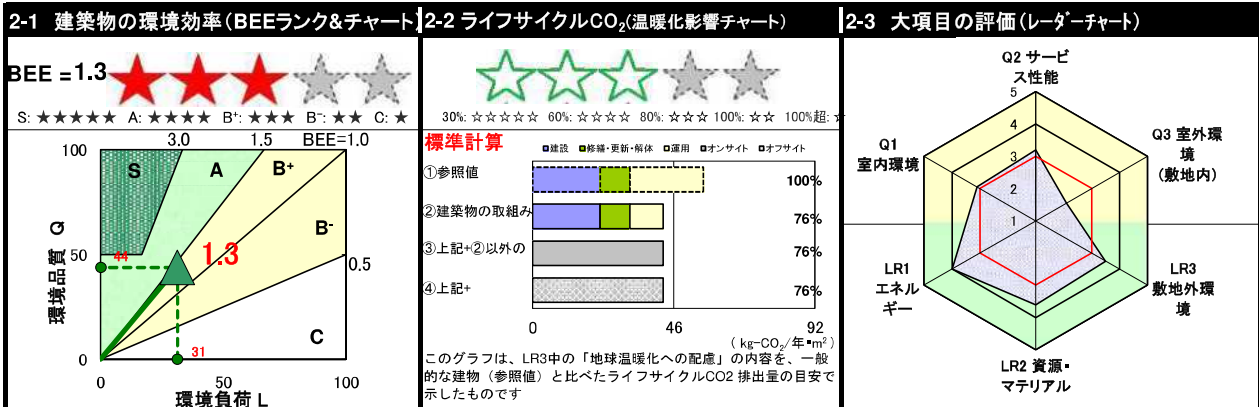
建築物名称	(仮称)センコー株式会社静岡支店新富士第2PDセンター新築工事
受付日	令和6年2月21日
建物所在地	静岡県富士市大淵字辻畑2767-1、2676-7、2676-8、2676-9、 2679-10の内、2677-1、2678-1、2678-2、2679-1、2679-2、 2679-5、2680、2681-1、2682-3、2687-3、2688-10、2688-12、 2689-1、2690-1、2690-3、2691-3、2677-2、2678-3、 2679-3の内、2679-4
構造規模等	鉄骨造／地上1階／延床面積3, 340. 14平方メートル／新築
建物用途区分	事務所、工場
建築主	センコー株式会社 静岡支店 支店長 志方昭友
工事完了予定日	令和6年2月21日

CASBEE[®]-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版|使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)センコー株式会社静岡支店新築	階数	地上4F
建設地	静岡県富士市大淵字辻畑 2676-1、	構造	RC造
用途地域	地域指定なし、防火指定なし	平均居住人員	300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2024年1月4日
敷地面積	19,646 m ²	作成者	東洋建設株式会社
建築面積	7,211 m ²	確認日	2024年1月18日
延床面積	19,829 m ²	確認者	東洋建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
■外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めた。		■特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
■使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、室内空気環境へ配慮した。	■ゆとりのある階高と空間の自由度を確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高い	■特になし
■高い昼光率を確保し、光・視環境にも配慮した。	■給排水配管に長寿命材の採用等により更新・維持管理のしやすい配慮がなされている。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
■BEI=0.45	■躯体材料及びそれ以外の材料にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減に努めた	■ライフサイクルCO ₂ 排出量を76%に抑制し、地球温暖化対策に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要

建物名称	(仮称)センコー株式会社静岡支店新富士第2PDセンター新	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	------------------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.5	/5	 ふつつ
“災害に強いすおか”の形成 (Disaster)	3.0	/5	 ふつつ
“すおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.0	/5	 ふつつ
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.4	/5	 がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.5
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要用途上位3種のうち2種以上にB以上を使用し、Eは不使用	Q-1 2 2.1 2.1.2	① 外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3	② 昼光利用設備	
	3.2 3.2.1	③ 昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	2.2.2	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔	
	2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)	2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	Q-3 1	⑤ 生物環境の保全と創出	
	3 3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	2	⑧ 自然エネルギー利用	
	3	⑨ 設備システムの高効率化	
	4 4.1	⑩ モニタリング	
	4.2	⑩ 運用管理体制	
⑪躯体材料以外の材料に押出法ポリスチレンフォーム、再生クラッシュチャーラン 複層ビニル床シートを使用し、部材の再利用可能性向上への取り組みとして、 容易に分別可能なLGS工法とOAを採用。 ⑬ノンフロンの断熱材を採用	LR-2 1 1.1	⑪ 節水	
	1.2 1.2.1	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
	1.2.2	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
	2 2.1	⑫ 材料使用量の削減	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	2.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
	2.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	2.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
⑭ライフサイクルCO2排出量を76%に抑制	2.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
	3 3.1	⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
	3.2 3.2.1	⑬ 消火剤	
	3.2.2	⑬ 断熱材	
“災害に強いすおか”の形成(Disaster)	3.2.3	⑬ 冷媒	
	LR-3 1	⑭ 地球温暖化への配慮	
	2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善	
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1	⑯ 耐震性	
	2.1.2	⑯ 免震・制振性能	
	2.4 2.4.1	⑰ 空調・換気設備	
	2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備	
⑰仕上り材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	2.4.3	⑰ 電気設備	
	2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法	
	2.4.5	⑰ 通信・情報設備	
“すおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.0
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2 1 1.1 1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1	⑲ 階高のゆとり	
	3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ	
	Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)			
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.4
 ■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1	㉒ 生物環境の保全と創出	
	2	㉒ まちなみ景観への配慮	
	3 3.2	㉔ 敷地内温熱環境の向上	
■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5	㉕ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3 2 2.2	㉖ 温熱環境悪化の改善	